

浄心寺だより

発行
浄心寺門信徒会

郵便番号 714-0081
笠岡市笠岡 2065
電話 (0865) 62-2623
FAX (0865) 62-2595
振替 01260-9-13760
<http://joshinji.suki-ari.net/>

ご案内

降誕会

仏教讃歌と
上方落語

五月十七日(土) 十二時半より



「み法を味わつて」(三)
永遠を生き抜く

じゅうたんえ

五月二十一日は降誕会。親鸞聖人のお生まれになつた
おめでたい日です。聖人のご一生はご苦労の連続の九十
年のようにも思われます。しかし聖人は決してくじけ
ず、人生を捨てられませんでした。むしろ生まれて来ら
れたことを大いに喜び、感謝されたのです。それは二十

九歳の時、法然上人に出会われ阿弥陀如来の教え、真実
の教えを聞かれたからです。その教えが生き抜く力となつ
たからです。いや聖人によってはじめて、阿弥陀如
來の教え、念佛の教えが、強く明るく生き抜く力となつ
たのだと言つてもよいと思います。あの世のことは遠い
先のことではなく、この世の現在、ただ今からの、永遠
を生き抜く力となつたのです。

聖人は身をもつて、すばらしい人生を示されました。

その聖人の説かれた教えを聞いて、念佛とともに生き抜
き、また人に仏法に親しむことを勧めることこそ大切で
あります。

仏婦コーナー



アンナの園

グリーンクレストは里庄駅の北側に位置する団地です。水島工業地帯や備後工業地域に近く通勤に至便なので地元の里庄町はもちろん笠岡市や県内外からの出身の方

浄心寺の法寶物

その6



出山の釈迦如来像

(木彫 浜田行慶制作)

昭和初年、境内の一画にあつた枯死した老松の幹を素材にして福山、山手の仏師・浜田行慶が彫つた釈迦像です。

言い伝えによりますと

「出山のお釈迦さま」といわれる等身大の木彫のお像です。

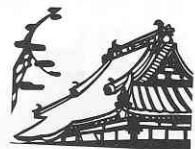
釈尊がこの世を去られた後、五百人の弟子たちが集まり、釈尊の教えを書きとめて編集しました。これを第一回の「結集」といいますが、もともと釈尊は著述されませんでしたから、こうして経典が成り立つたわけです。このような「結集」はその後も何回となく繰り返し行われたと伝えられています。このようにして仏教は、

本堂前の左手に二間四面の小さなお堂があります。安置されているのは「出山のお釈迦さま」といわれる等身大の木彫のお像です。

百人のお弟子たちが集まり、釈尊の教えを書きとめて編集しました。これを第一回の「結集」といいますが、もともと釈尊は著述されませんでしたから、こうして経典が成り立つたわけです。この

釈尊がこの世を去られた後、五百人の弟子たちが集まり、釈尊の教えを書きとめて編集しました。これを第一回の「結集」といいますが、もともと釈尊は著述されませんでしたから、こうして経典が成り立つたわけです。この

浄土真宗



1. 仏教とは

インドの仏教

ショカ王(阿育王)は、仏教をばかりか国外各地にまで仏教の伝道僧を派遣したので、仏教は全印度にひろまつたばかりでなく、遠くアフガニスタンやセイロン、ビルマにまで伝えられました。また王は釈尊の誕生・成道・初転法輪(最初の説法)・涅槃の聖地を巡行し、記念の石柱や塔を建てさせました。その塔や石柱の一部は発掘されて現存し、仏跡の正確な位置を知る貴重な手がかりとなっています。このようにして仏教は、

教えとそのあゆみ

弟子や信者たちの努力で順調に発展していました。

とくに仏滅後二〇〇年ごろに出たア

ります。

王の死後も仏教は引き続いて栄え西暦第二世紀には南インドにナ

ーガールジユナ(龍樹菩薩)が出て、「空」の教義を明らかにし、大乗佛教思想の上に大きい足跡を残されました。また第四世紀には北

インドにヴァスバンドウ(天親菩薩)が出て、「唯識」の教義を説き、とくに我執煩惱を断じてゆく実践道の体系化に偉大な足跡を残されました。なお、この二人の高僧は

浄土教に関するすぐれた著作を著し、浄土教の形成に不滅の道標を立てられました。そこで親鸞聖人は、七高僧の第一祖として龍樹菩薩を仰ぎ、第二祖として天親菩薩の業績をたたえておられます。

辺元一国手(渡辺医院初代)が発起人となり、日清・日露両戦病死者の追悼のため、広く世の有志の支援を仰ぎ、成就されたものと伝えられています。

その後、昭和十一年、当寺の仏教婦人会の手によつて建てられたのが現存の釈迦堂です。

このたび第十九世住職継職の記念事業として阿弥陀堂として建て替えられ、お像は本堂に遷座されます。

その趣意書によると津

研修旅行

参加者募集中

中村記念館、由志園、水木しげる記念館を訪ねて

◎とき
6月1日(日)

◎参加費
7,000円

◎参加申込
5月20日まで

編集後記

桜花爛漫の穏やかな好季節となりました。来る五月十七日の宗祖降誕会法座へのご案内の浄心寺だ

より第一〇七号をお届けします。

今回の法座には、上方落語新進師匠のお二人をお迎えし抱腹絶倒の高座をお聴きします。どうぞ皆様、ご家族ご近所お誘い合わせの上お参りください。(編集事務局)